

第27回電友会ボランティア活動賞・第3回電友会ボランティア活動功労賞表彰式

平成29年11月24日（金） 於 KKRホテル東京（東京 大手町）



若松倫夫さんの作品（本社）



司会 青野事務局長

NTT 牧内総務部門部長の
お祝いの言葉NTT 三浦取締役会長の
お祝いの言葉

鈴木会長あいさつ

ごあいさつ

ボランティア活動は社会の宝

電友会が誇りとするボランティア活動を称える日が今年もめぐってきました。全国の会員多数がこれほど様々な活動を行い、生きがいを持って世の中に貢献していただいていること心から感謝申し上げます。シニア世代の生き方に世の中の関心が注がれることが多くなり、機会あることに私は電友会の盛んなボランティア活動を紹介しております。

世の中の豊かな物差しとしてのGDP・国民総生産と言われますが、ボランティアは何日尽きないものがあります。これは社会の宝であり、お金では測りきれないものがあります。これは社会の宝であります。ボランティアを通して仲間と交わり、ともに行動し、心を通じることが自分たちのためだけでなく社会の宝を生み出していることになりました。

女性の時代

今や日本は長寿少子化社会として世界の先頭にあり、シニア世代と女性への期待が大きくなっており、本日の表彰を受けになる方の中に九十四歳の太田さんはヴァイオリン演奏で大活躍されていらつしやいます。千八百年も前に「倭の国の人々は大変に長寿である」と記されていましたが、まさにそれが本物になってきました。また今年の女性の受賞者は十四名と大幅に増えていきます。歴史を見ると、国が乱れて民が苦しむときに救うのは女性のリーダーでした。卑弥呼、ジャンヌダルクもメルケルも対立を超えて団結を実現しました。女性は創造者であり男の多くは破壊者でありました。近年、電友会にも女性パワーに火がついてくる気配を感じておりまして、これから大きな期待を寄せています。もちろん男の方にも一層の奮闘を願う気持ちに変わりがあります。

働き、学修し、人とながる

「四十、五十は渾垂れ小僧、六十、七十働き盛り」と明治の賢人の言葉通り実践する時代に突入いたしました。この長い働き盛りをどう充実していくかを考える必要があります。働くとは「他人のため奔走する」ことです。これには人に社会につながりを持つて学修を続けなければなりません。人のためになるボランティア、人と共にやるボランティア、人から教えられるボランティアから得られる意義とあります。この考え方の延長として本年からはシニアの皆さんのための「アクティブシニア支援機構」という組織を作り就労活動を始めました。仕事を通して世の中に貢献するの百年人生を豊かに送る大きな選択肢です。

オリンピック、パラリンピックにボランティア

さて、二〇二〇年にオリンピック、パラリンピックがやってきます。主役は選手ですがホスト国は全員参加で盛り上げていこうという意気込みが感じられます。様々のボランティアのチャンスが期待できます。NTTはゴールドパートナーとして大会の振興を担い全力を注いでおります。電友会も、NTTとしての参加を要請されております。既に明らかな施策として、皆さんの不要になった携帯電話等からつく「金メダル」を優勝者すべてに贈る活動があります。パラリンピックを機に障がい者にやさしい街づくりとしてバリアフリーマップのための情報収集活動への参加もあります。電友会のボランティアパワーを発揮すべく皆さんのご協力をお願いします。

平成二十九年十一月二十四日

電友会 会長 鈴木 正 誠

<表彰式>



(表彰状授与)



(受賞者の方々)



(受賞者の活動写真展示)



(NTT 鶴浦社長からのお祝品の贈呈)



(受賞者代表 比嘉さん（沖縄）の謝辞)



(表彰式前の様子)

